

特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

「全席優先」事実上廃止

善意頼み 効果出ず

横浜市営地下鉄に「最優先席」

国内で唯一の「全席優先席制度」を続けてきた横浜市営地下鉄が、新たに最優先席の「ゆずりあいシート制度」を導入する。「全席優先席の理念はそのまま」と説明するが、従来の優先席方式の事実上の復活だ。「善意頼み」ではダメなのだろうか。(佐藤圭)

しを求める声が絶えず、昨年八月のアンケートでも「席を譲ってもらえぬ」と回答したお年寄りは半数に満たなかった。このため、お年寄りや体の不自由な人、妊婦などに向けた「最優先席」を新たに設けることにした。各車両に一カ所ずつある「携帯電話電源オフエリア」が「ゆずりあいシート」になる。今月下旬からシール表示を順次開始し、九月に全面移行する。

いう位置づけた。全席優先席の理念に変わりはなく、お年寄りや体の不自由な人、妊婦などに向けた「最優先席」を新たに設けることにした。各車両に一カ所ずつある「携帯電話電源オフエリア」が「ゆずりあいシート」になる。今月下旬からシール表示を順次開始し、九月に全面移行する。

「昔は優先席がなくてやしてほしい」といったも、お年寄りには席を譲り利用者の要望を踏まえていたのに…。情けな対応だった。いよね」  
作詞家の喜多條忠氏はため息をつく。  
喜多條氏は、二〇〇九年一月の本紙コラム「言いたい放談」で、市営地下鉄の全席優先席制度について「まさに思いやりの原点だ」と絶賛していた。市営地下鉄の全席優先席制度は〇三年十二月に始まった。「優先席を増

高年齢者の多くが譲ってもらえず、市営地下鉄の全席優先席制度は、関西の大手私鉄・阪急電鉄が一九九九年に全国で初めて導入した。だが、「優先席がないと譲って」などの苦情が相次ぎ、〇七年に優先席方式に戻っている。市営地下鉄でも、見直

ゆずりあいシート  
この席は必要とされる方におゆずりください。  
Please offer these seats to passengers in need.  
お年寄りの方 体の不自由な方 妊娠中の方 乳幼児を  
お連れの方



「と説明する。優先席の是非は古くて新しい問題だ。本紙の読者投稿欄でも最近、「優先席があることで若い人（福祉社会学）は「若い人たちは優先席以外を譲らなくてはならない」という。東日本大震災で受ける側の意識ばかりが、多くは、多くの若者がボランティアとして被災地に駆けつけた。きっかけがあれば、若い人も動く。優先席も一つのきっかけだ。三十一〜五十代の人たちが譲っている姿を見せることで、若い人に学んでもらうしかない」  
鉄道評論家の川島令三氏は「（お年寄りらしか座ることのできない）専用席を設置するしかない。モラルに頼ってはいけません」ときっぱり。鉄道会社側は、ラッシュ時の混雑を助長することなどを理由に後ろ向きだが、川島氏は皮肉まじりに言う。

「専用席作るしかない」消極姿勢

「交通機関の意識は横並びのようだが、優先席も旧国鉄（現JR）が導入し、私鉄が続いた。専用席もどこかが始めれば他も追随する」

「ユースの追跡」